

# 学校評価（令和5年度 第2回集計結果）

2/27（火）に学校評価委員会を開催し、アンケートの結果から見えた課題について、原因の究明や具体的な解決策を検討しました。職員の共通理解のもと実施していきます。

また、要望等については真摯に受け止めると同時に、より良い教育活動を推進していくことで、保護者や地域の方々と連携して子供を育てていけるようにしていきたいと存じます。

## 1 学力向上

生徒アンケートでは、第1回の生徒アンケートよりほとんどの項目で数値の向上が見られました。特に学力向上に係る項目の満足度が「私は、難しい学習課題にもあきらめず、挑戦している」が6.7ポイント増加、「私は、授業でわからないことがあった場合は、先生や友達に教えてもらいながら、なるべく早く解決している」の項目で、7.9ポイント増加しました。年度末になり、高校選択や進級に向けて意識が高まったと推察できます。これは、保護者アンケートの「学校は、学力向上のために工夫及び充実した授業を行っている」の項目でも満足度の数値が増加していました。

その一方で、「私は、テスト勉強の仕方がよくわかる」「私は、家庭学習が習慣になっている」の項目で数値の増加はみられたものの、68.1%、56.4%と、全体からすると低い結果のままとなりました。今後は、学習意欲の向上や、学びに向かう力を育むことはもちろん、それと併せて「学習の仕方」を身に付けられるようにする必要があります。家庭学習の習慣化に向けて、御家庭でも御協力をお願いいたします。

- (1) 定期テスト前の朝読書の時間を活用した学力向上週間の継続
- (2) 進路選択を視野に入れたキャリア教育の充実
- (3) 相互授業参観や各種研修に積極的に参加することによる指導力の向上

## 2 生徒の悩みへの対応

保護者アンケートでは、「学校は、生徒の悩み等に親身かつスピード感をもって対応している」の項目で、満足度が14.5ポイント増加しました。また、「学校は、生徒の安全・安心の確保に努めている」「学校は、生徒が良好な人間関係を築けるように努めている」の項目においても、満足度の数値が増加しました。学校でも、教育相談の充実など、引き続き努めてまいります。

- (1) 職員間の報告・連絡・相談の徹底。些細なことでも情報共有を行う。
- (2) 適切な初期対応と、家庭との協調体制の構築。
- (3) 教育相談の充実及び風通しのより体制づくり

## 3 教育活動の内容や生徒の様子への伝え方

保護者アンケートでは、「教育活動の内容や生徒の様子等伝えている」で10.5%、「学校の広報活動の充実」で、7.9ポイントの満足度の数値が増加しました。学校だよりの内容について、地域の方から励ましの御連絡をいただきました。

1月に実施した、校歌に手話を付けて歌った心のバリアフリー教育事業の1000か所ミニ集会では、御参加くださった保護者の方に御好評いただきました。しかし、当日の保護者・地域の方の参加人数が学校の想定より少なかったと反省がありました。実施した事業の周知だけでなく、今後、予定されている行事等の周知などについても、しっかりと広報活動をしていきたいと考えます。学校での様子や教育活動が家庭・地域に伝わるように引き続き工夫していきます。

- (1) 学校だよりの（各月の中旬）や学年だよりの（各月の上旬）で、生徒の活動の様子を伝えていきます。また、ホームページにも掲載しております。